



主体的・対話的で深い学び

校長 小松 進一

一新学習指導要領に基づく教育一

今年度から、新しい学習指導要領（国が示す学習内容の基準）に基づく教育が始まりました。新学習指導要領のキーワードとして、「社会に開かれた教育課程」「カリキュラム・マネジメント」「考え、議論する道徳」「主体的・対話的で深い学び」などがあります。そして、この新学習指導要領では、生徒の皆さんに身に付けてほしいことについて、次の3点を示しています。

1 点目は、「知識及び技能」（何を理解しているか、何ができるのか）の習得です。

2 点目は、「思考力、判断力、表現力等」（理解していること・できることをどう使うか）の育成です。

3 点目は、「学びに向かう力、人間性等」（どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）の育成です。

この3点の育成がバランスよく実現できることで、知・徳・体にわたる「生きる力」を育むことにつながっていきます。

これらの能力を培うために「主体的・対話的で深い学び」が重要となります。「主体的な学び」とは、学ぶことに興味や関心を持ち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次の学習につなげるなどのことです。「対話的な学び」とは、生徒同士の協働、先生や地域の方々との対話、先人の考え方を手掛かりに考えることなどを通して、自分の考えを広げ深めることです。「深い学び」とは、習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学習のことです。つまり、受け身的な

学習から活動的で能動的な学習への転換です。

これらの学習は、今までの教育活動の中でも重視してきた学習ですが、今年度からさらに充実させていきます。生徒の皆さんも、教科授業だけでなく、学級活動や学校行事、部活動などにおいてこれらを意識して活動してほしいと思っています。

一学校支援本部の活動一

東原中学校学校支援本部は、生徒の健全な成長と教育活動の充実・発展のため、保護者、地域関係者、同窓会関係者、卒業生保護者等が協力し、東原中学校の経営方針に基づいて支援活動を行うことを目的としており、発足してから12年目を迎えました。

主な活動として、定期考査前に自習室を開設しての自習支援（「放課後スタディ」）、英語検定や漢字検定サポート（10月以降東原中において団体受験）、花壇プランター整備や紫陽花剪定・もふもふコキアプロジェクトなどの環境整備支援を行っています。しかしながら今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、非接触型の活動となっておりますが、昨年度からの「令和の校庭花壇大改修！」により赤レンガに囲まれたすてきな花壇が完成し、たくさんのきれいな花が咲きました。コロナ禍の中、生徒たちと直接関わることができませんが、生徒たちはもちろん、私たち教職員の心も和ませてくれています。学校支援本部の皆様、本当にありがとうございます。



教育活動の紹介

『第73回入学式』
4月7日(水)



令和3年度 第73回 入学式が本校体育館で挙行されました。新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、今年度も残念ながらご来賓の皆様と在校生の式の参列は見合わせることにし、内容や規模を縮小して実施しました。新入生の皆さんは、緊張する中にも呼名の場面では大きな声で返事をするなど、中学校生活への希望に満ちあふれていました。3年間、大いに活躍してください！

『中学校初めての給食』4月8日(木)



『3学年揃った朝礼・全校集会』4月12日(月)



『新入生歓迎会』4月12日(月)



昨年度は実施を見送った『新入生歓迎会』。コロナ禍前のように盛大な実施はできませんでしたが、それでも生徒会を中心に発表内容をコンパクトに工夫し、心の込もった歓迎会となりました。恒例のくす玉割りも無事成功！念願だった在校生による新入生への校歌の披露も実現しました。先輩たちの趣向を凝らした紹介を新入生は真剣に見入り、「どの部活動に入部しようか」と一生懸命に考えていました。まだまだコロナによる我慢の学校生活は続きますが、生徒たちが新しい生活様式に上手に順応できていることを感じさせるひと時でもありました。

『フレンドシップ・デイ (フレンドシップスクール)』 4月16日(金)

フレンドシップスクールとは、複数の小学校から集まる中学1年生が、新しい環境・学習や人間関係の変化に適応し、中学校生活においてスムーズなコミュニケーションを図り、より良い人間関係づくりを目的とした、杉並区立中学校の体験型の宿泊行事のことをいいます。昨年度はコロナ禍のために残念ながら中止。今年度、東原中学校では『フレンドシップ・デイ』と銘打ち、宿泊を伴わない形で講師をお招きし、体育館での実施としました。

この行事では、エンカウンター等のプログラムを一定のルールのもと、小集団のメンバー全員で話し合い協力し合いながら、課題を解決していきます。例えば、下の画像は「ヘリウムリング」といって、フラフープをグループ全員の人差し指に乗せて、指が離れないようにしながらフラフープを上から下に降ろすという、いたってシンプルなゲームです。しかし、フラフープをどのように扱うか、身長差など、自他の違いを尊重し合い、リーダーの声掛けで気持ちを合わせなければ、課題の解決はできません。

フレンドシップ・デイの体験から学んだことを、ぜひこれからの学校生活に役立てていってください。



『離任式』 4月23日(金)

《退任・離任された先生方》

主任教諭	森川 圭子 先生	国語	杉並区立高円寺学園へ
主任教諭	川上 裕志 先生	英語	杉並区立泉南中学校へ
主任教諭	齋藤 卓也 先生	社会	武蔵野市立第四中学校へ
非常勤教員	山口 浩司 先生	数学	ご退職
非常勤講師	渡辺 千晶 先生	保体	東村山市立東村山第一中学校へ(新規採用)

今までありがとうございました！



令和2年度末には5名の先生が東原中学校を退任・離任されました。4月23日の離任式には、うち4名の先生方にご出席いただきました。代表生徒のお別れの言葉と花束贈呈、そして先生方から生徒の皆さんへお言葉をいただき、先生方が最後に聴く全校生徒による混声4部合唱・アカペラの校歌で締めくくられました(1年生は、校歌の全校合唱に初参加でした)。

今まで東原中学校の教育に多大なご尽力をいただき、ありがとうございました。新しい学校、新天地でもどうぞご活躍ください。

『部活動集会』 4月30日(金)・『前期生徒総会』 5月10日(月)

緊急事態宣言が再発出されたことにより、期間中は体育館で全校生徒が集まるなど、大人数が「密」になる活動が再びできなくなりました。このため『部活動集会』では、体育館に全校生徒が一堂に会して、部活動の全般的なことについて説明を受けた後に各部活に分かれて集会をする予定でしたが、予定を変更し、前半の全校集会の部分は放送による説明としました。



一方、『前期生徒総会』では、生徒会役員が放送室から司会や全体の説明をした後、あらかじめ収録しておいた動画を各教室にオンデマンド配信し、採決等も各学級で行ったものを全体で集約する形で実施しました。これらも新しい学校生活の様式といえるでしょう。



『区特定の課題に対する調査、意識・実態調査』 5月11日(火)

杉並区独自の学力調査がこの日、実施されました。昨年度はコロナウイルス感染予防の観点から、杉並区をはじめ、東京都、国、全ての学力調査が中止となりましたが、今年度は区の特定課題調査を皮切りに、実施される予定です。なお、各調査の結果が出次第、学校だより等を通してお知らせいたします。



《5・6月の主な行事予定等》

〇5/17日(月) 生徒朝会、心臓検診(午後)
校内研修会
〇20日(木) 中間考査 1日目 ②英語③数学④社会
〇21日(金) 中間考査 2日目 ②国語③理科
④運動会全校集会
〇24日(月) 朝礼 運動会練習始 ⑥係会(1)
〇25日(火) 学年練習：③2年④3年⑤1年
〇26日(水) 腎臓検診二次
〇27日(木) 全国学力・学習状況調査(3年)
腎臓検診二次(予備日)
学年練習：③2年④1年⑤3年
〇28日(金) 学年練習：②1年③3年④2年
〇31日(月) 職員会議
〇6/1日(火) ②全校練習
学年練習：③2年④3年⑤1年
⑥係会(2)・予行準備

〇 2日(水) ①～③運動会予行 ④学活
⑤係会(3)・予行片付け 職員打合せ
〇 3日(木) 予行予備日
〇 4日(金) ①全校練習、学年練習：②1年③3年
④2年、⑤⑥運動会準備
〇 5日(土) 第72回 運動会
〇 7日(月) 振替休業日
〇 8日(火) 運動会予備日(1) 体力調査始
〇 9日(水) 杉教研一斉部会(教職員)⑤⑥カット
〇10日(木) 道徳授業公開 歯科検診(午前)
〇11日(金) 運動会予備日(2) 避難訓練
〇14日(月) 生徒朝会 専門委員会・学校委員会
期末考査 1週間前
〇16日(水) 小中一貫教育合同研修会(教職員)
〇17日(木) 眼科検診 学校運営協議会(14:00～)
〇18日(金) 進路説明会(3年) 体力調査終